

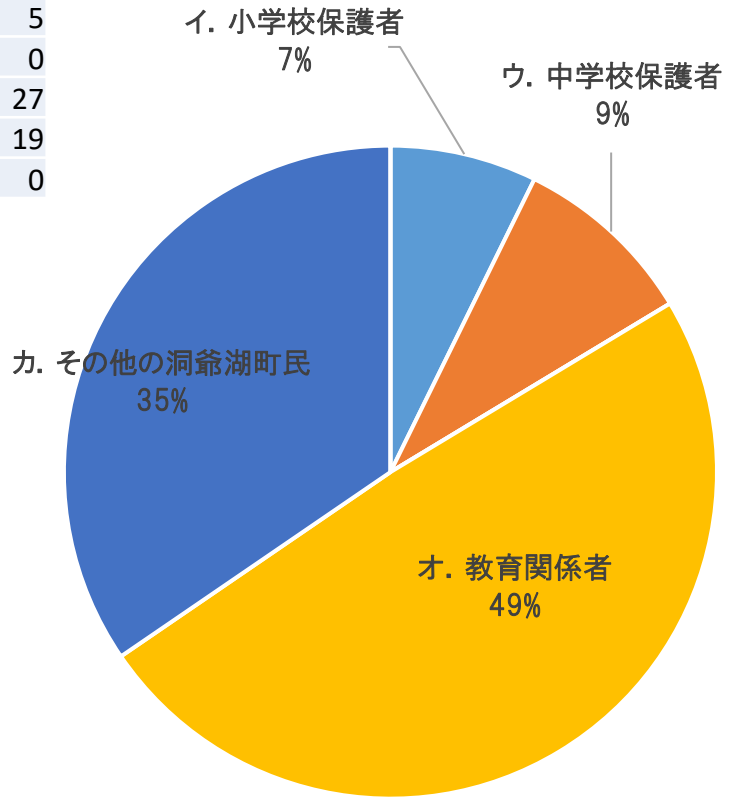
令和5年度 小中一貫教育 に関するアンケート調査結果

(回答数 56件)

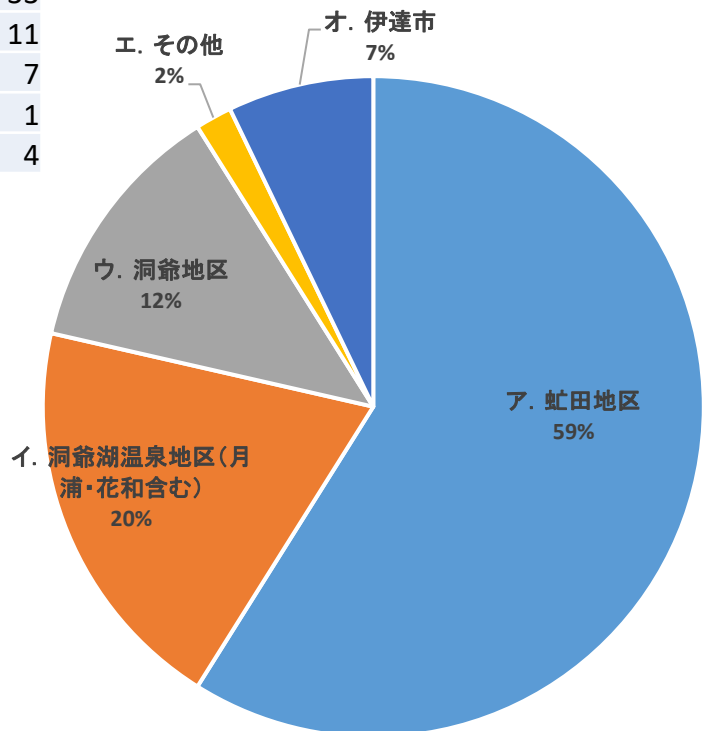
令和6年1月

洞爺湖町教育委員会

1－1当てはまる区分を選んでください。	
【回答者種類】	
ア. 就学前保護者	1
イ. 小学校保護者	4
ウ. 中学校保護者	5
エ. 児童生徒	0
オ. 教育関係者	27
カ. その他の洞爺湖町民	19
キ. その他	0

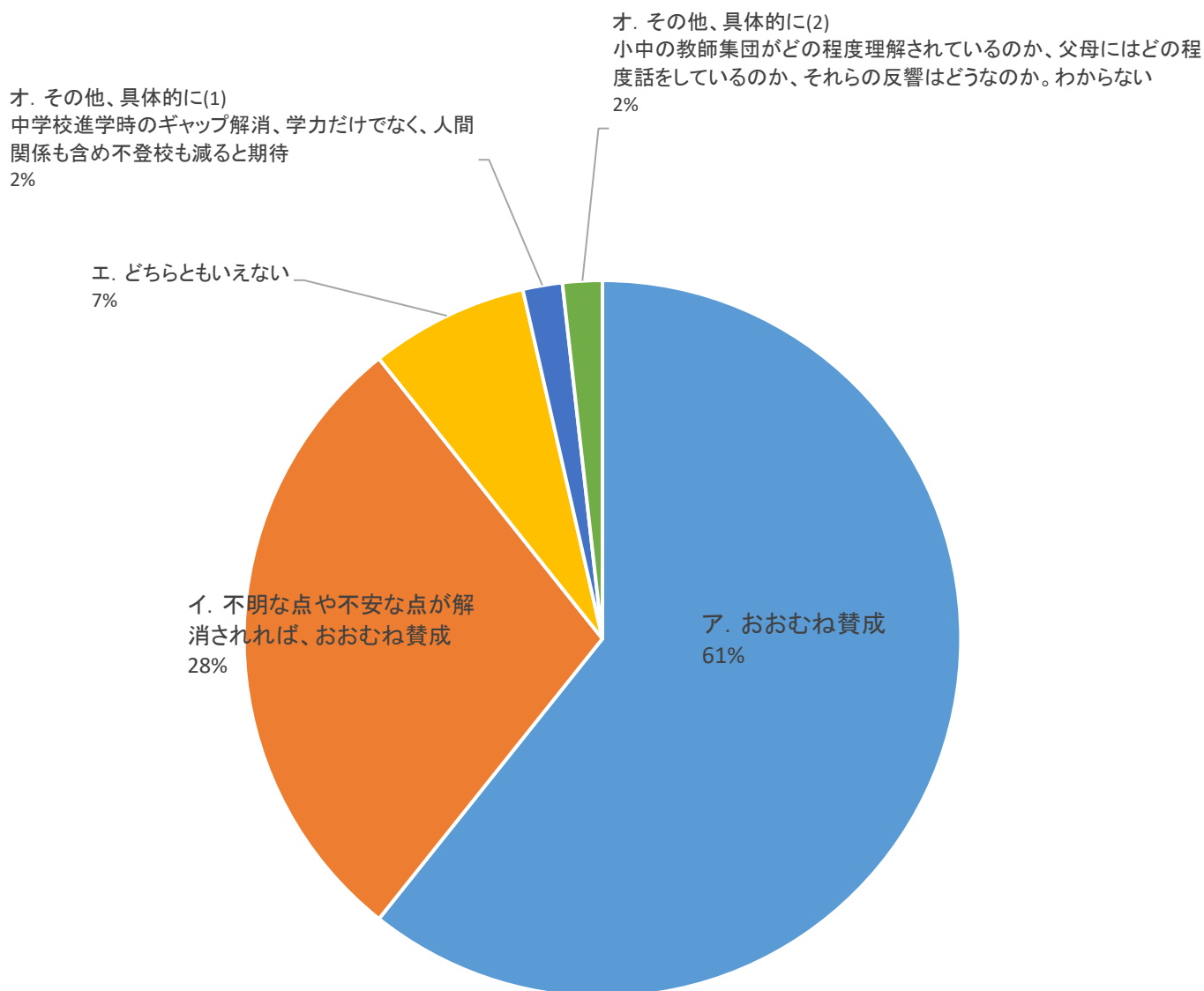


1－2当てはまる区分を選んでください。	
【回答者居住地】	
ア. 虻田地区	33
イ. 洞爺湖温泉地区(月浦・花和含む)	11
ウ. 洞爺地区	7
エ. その他	1
オ. 伊達市	4



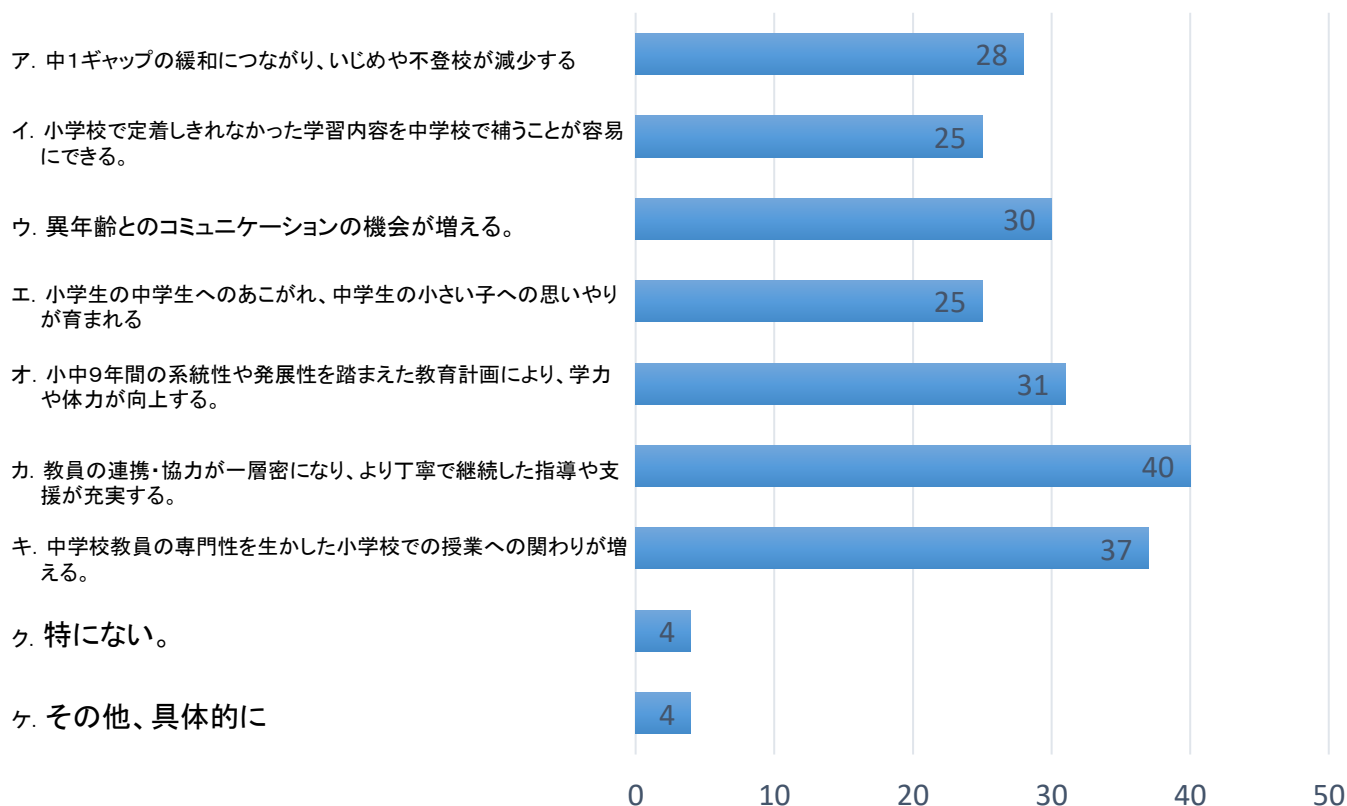
2 洞爺湖町教育委員会では、洞爺湖町における義務教育9年間のさらなる充実を図るため、小中一貫教育の早期の導入を目指しています。次の中から、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

ア. おおむね賛成	34
イ. 不明な点や不安な点が解消されれば、おおむね賛成	16
ウ. 反対	0
エ. どちらともいえない	4
オ. その他、具体的に(1) 中学校進学時のギャップ解消、学力だけでなく、人間関係も含め不登校も減ると期待	1
オ. その他、具体的に(2) 小中の教師集団がどの程度理解されているのか、父母にはどの程度話をしているのか、それらの反響はどうなのか。わからない	1



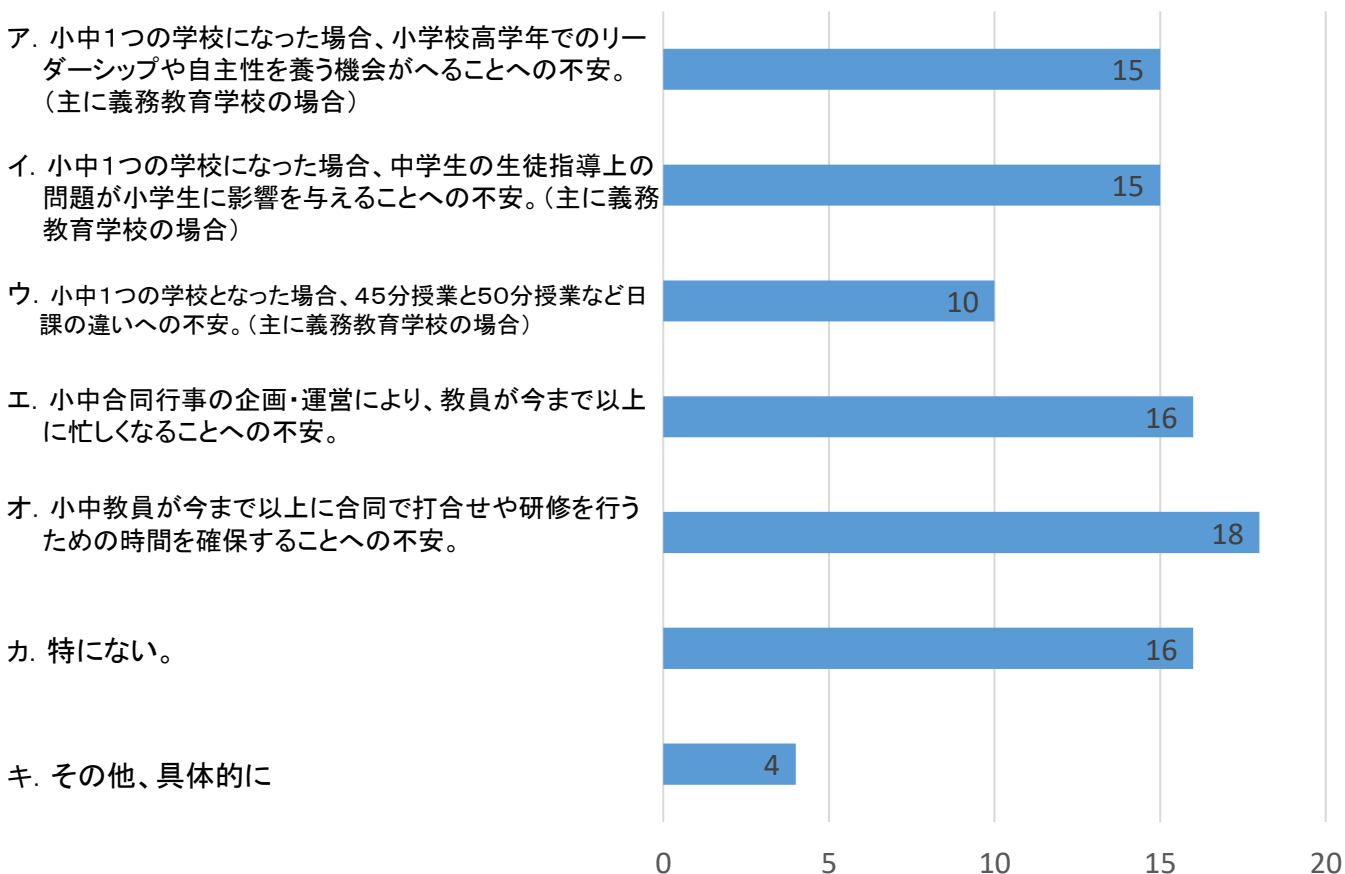
3 小学校から中学校へのなめらかな接続を目指す小中一貫教育について、一般的に次のようなメリットがあると言われています。小中一貫教育を導入した場合、どのようなことを期待するか、次の中から、あなたの考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

ア. 中1ギャップの緩和につながり、いじめや不登校が減少する。	28
イ. 小学校で定着しきれなかった学習内容を中学校で補うことが容易にできる。	25
ウ. 異年齢とのコミュニケーションの機会が増える。	30
エ. 小学生の中学生へのあこがれ、中学生の小さい子への思いやりが育まれる。	25
オ. 小中9年間の系統性や発展性を踏まえた教育計画により、学力や体力が向上する。	31
カ. 教員の連携・協力が一層密になり、より丁寧で継続した指導や支援が充実する。	40
キ. 中学校教員の専門性を生かした小学校での授業への関わりが増える。	37
ク. 特にない。	4
ケ. その他、具体的に 教育予算の焦点化 必要なところに必要な分だけかけやすくなる。	1
ケ. その他、具体的に 保護者・地域と学校の連携が取りやすくなる。	1
ケ. その他、具体的に 子どもの主体性や発信力が伸びる。	1
ケ. その他、具体的に 一貫した教育方針、教育計画はとてもよいが、教師の異動があるので大丈夫？教員負担は？	1



4 小中一貫教育について、一般的に次のような不安の声が例示されています。次の中から、あなたの考えに近いものを選んでください。(複数回答可)

ア. 小中1つの学校になった場合、小学校高学年でのリーダーシップや自主性を養う機会がへることへの不安。(主に義務教育学校の場合)	15
イ. 小中1つの学校になった場合、中学生の生徒指導上の問題が小学生に影響を与えることへの不安。(主に義務教育学校の場合)	15
ウ. 小中1つの学校となった場合、45分授業と50分授業など日課の違いへの不安。(主に義務教育学校の場合)	10
エ. 小中合同行事の企画・運営により、教員が今まで以上に忙しくなることへの不安。	16
オ. 小中教員が今まで以上に合同で打合せや研修を行うための時間を確保することへの不安。	18
カ. 特にない。	16
キ. その他、具体的に アドバイザー、専門家等の配置 計画性、ビジョンを町民と教育現場にお示しいただくこと	1
キ. その他、具体的に 中学校進学にともなうリセット効果、切り替え効果が失われる不安	1
キ. その他、具体的に もし、義務教育学校になった場合、現在の校舎で、教室の数など確保できるか。	1
キ. その他、具体的に エ、オ解消のために教員異動は特別配所されるのか、教師自身の希望は生きるのか	1



5 今後、洞爺湖町の教育を進めるうえで、どのようなことに力を入れていくことが大切だと思いますか。自由にお書きください。

- ・子供たちが、高等教育へ進んで行っても、この地域に育てられ、地域を愛する人間に育ってほしい。そして、将来、洞爺湖に戻ってきて欲しい😊
- ・少子化が進む今、地域を支える人材を地域で育てるシステムが必要である。地域と歩む学校作りを推進し、学校を地域を発展する様な教育に取り組みたい。
- ・講演中にあった「やってみる」の精神があれば良いと思います。先駆者は大変ですが、その点、既にある多く事例を参考に真似ていくだけ。子ども達が救われる町になれると思います。
- ・乳幼児からの子どもたちをどのように育てていくのかという、明確なビジョンを洞爺湖町として示して欲しい。
- ・学校を核にした地域づくり、洞爺湖等の自然を生かしたユニークで魅力ある授業や取り組み、学校づくり。
- ・自分の考えをしっかりと持てるように相手に思いやりを持てるような人としての教育。学力だけでなく、体力も。
- ・地域・保護者への丁寧な説明。
- ・壮瞥の小中連携がすごい！！と研究大会で感じました。見に行かれてはいかがでしょうか。あと、近場では豊浦の私学(いずみの学校)が15年一貫です。参考になるかもしれませんね。教職員の理解、協力、必要性を得ることの力を入れることが大切だと思います。
- ・管理職含め、小中教職員間のベクトル合わせ(対話、理解、実行)
- ・行政のスピード感 ・教員の向上心 ・保護者の理解
- ・向上心の育成 ・教員の質の向上 ・地域住民の関係を意識させる
- ・小中一貫教育に対して生徒の少ない中、いろいろ問題が出てくると思いますが、早く進めることにより、良い点が出てくるのでテレビを見る限り、進行してほしいと思う。
- ・9年間の接続を意識した教育課程の編成及び小中学校教員の入手情報の拡張
- ・学校・地域(保護者)・行政が風通し良く話し合いが進められること
- ・郷土に愛着と誇りをもち、将来の洞爺湖町を創っていけるような人材の育成だと思います。
- ・どんな大人になりたいかを考えさせることが大切です。その夢に向かって、学校で力を付けているという意識を子供にもたせることができれば、もっと主体的に学習したり活動したりするようになると思います。
- ・児童生徒の確保、そこに向かうための住宅の増築と雇用の促進。
- ・小中一貫教育に賛成です。洞爺湖町の財政難の中、中学校小学校の建て替え、改修が迫ってるので、あちこち直すより、洞爺湖町の全部の学校を一つにして小中一貫校を作してほしいです。子供が減ってる中で、洞爺湖町にあちこち学校があるより一つにした方が経済的で良いと思います。
- ・学校、家庭、地域間でのVisionの共有とモンスターを減らす。モンスターとは、著書に記載されていた無関心層のこと。そのためには、何かしらの発信力のある発信源が重要だと思う。
- ・学力の向上。最も効果的な対策としては近隣の高校が軒並み全入状態になっていることの解消(町ではどうにもならないことですが、道への働きかけを行うべきかと)
- ・一貫教育に関する地域の理解と、行政、町民、学校の連携。
- ・特別支援学級の指導における、学習環境の施設整備。
- ・今回のような講演会を平日の教職員の勤務時間に行い、教職員の理解を得るようにした方が良い。
- ・今回のような保護者及び地域住民への説明・勉強会の実施をこまめに行うこと。
- ・時代にあった校則、生徒が過ごしやすい学校(トイレ)など。
- ・地域と先生方の連携。先生方の力量アップ。
- ・大沼岳陽学校の素晴らしい教育活動を拝聴することが出来ました。将来、義務教育学校に赴任して自分の得意分野を児童生徒に還元していきたいです。今日は、ありがとうございました。
- ・町内小中学校の老朽化への対応、早い機会の教育ビジョンの設定を受けて町民への説明、意見の集約、教員の共通理解が必要。
- ・ふるさと教育、ICT教育、防災教育の充実。
- ・一般の人々の協力、事業所、会社などと手を取り合って進めた方が良いと思います。
- ・室蘭市や伊達市の義務教育学校の話でなく、同じ観光地の大沼(七飯市)を選定した事はタイムリーですね。前回より実践的な内容で教員や議員も理解しますね。
- ・教育委員、地域住民の関わりが重要だと思います！
- ・教師集団の納得理解が大切。父母集団への説明は大丈夫か。「どこかで折り合いをつける」実施してしまえば当然でしょうが、そのロードセッティングは大変ですね。
- ・児童生徒の数は必ず減少します。子供ファーストで学校づくりを考えて下さい。温小やとうや小、洞爺中などあの人数での教育は子供の将来が不安です。学校は地域のためではなく子供のために存在します。洞爺湖町は一つの小中学校にすべきです。教育委員会の決断を期待します。